

【第1号議案】

## 平成25年度 事業報告

### 1. 事業部門(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当財団は、平成2年(1990)4月1日に(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団として設立されて以来、本年で満24年を迎えました。これまでは、本格的な高齢社会の到来を控え、また国民のニーズの高度化、多様化に対応するために良質の医療を効率的に提供するためのシステムづくりが重要なことから、医療供給を施設中心から在宅中心へと転換する観点で、在宅でも医療が出来る環境の整備を図り、在宅ケアを推進していくために研究や事業助成を中心に助成事業に努めてまいりました。

また、教育研修事業分野においても在宅で利用者が必要とするニーズを捉え、マネジメントの充実を図る目的から専門職の質の向上を目指し教育研修を実施してまいりました。

これらの情報を出版物「ふれあいの輪」やホームページ等で外部機関へ公開し、助成を必要としている諸団体・個人への情報及び調査・研究事業の分野においても、質、量の両面で調査研究の成果を関係諸団体に対し提供を行い、わが国の在宅推進の向上に寄与し、広く社会へ財団の社会的役割を発信してまいりました。

当財団は公益財団法人へ移行して以降、本年度は3期目を終え1年を通しての公益目的事業計画の執行、並びに年度収支予算に伴う決算処理を実施する年になりました。

更なる超高齢社会を迎えるに当たり、社会保障制度の仕組みを早急に取り組む必要性があり、特に在宅ケアに関しては、多様化するニーズにいち早く捉え高齢者が自立生活を継続できる住まいを確保し、生活の質を如何に高めるかが重要となります。

世帯構成の変化や住まい方の多様化に対応し、高齢者や障害者の安全・安心を確保するために必要な生活や住環境の整備が必要不可欠であります。そのために、官民の連携を下に一体となって、介護保険制度の充実から在宅に対する知識の共有と地域包括ケアシステムの構築が必要となるものと判断いたします。

医療、看護、介護の専門職がチームアプローチを行い、利用者の自立支援に役立てることができれば幸いに思う次第であります。当財団としても、それらの役割を共有して在宅ケアに対するあらゆる分野から双方向の視点での役割を担うことで社会貢献を目指し、公益性を重視した考えを元に邁進していく所存であります。

今年度の公益目的事業、収益目的事業並びに決算処理については、以下の通りご報告いたします。

## [1]公益目的事業

### イ. 研究事業助成事業（公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業）

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであり、基本的には、在宅での医療機器、福祉用具を使用しての研究及び事業であります。

#### ●1. 平成 25 年度選考委員会(第 1 回)

日 時	平成 25 年 4 月 24 日〔木〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 4F みやび
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 齊藤 清 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、江向常務理事
議 題	平成 25 年度助成金募集要項について他

#### ●2. 平成 25 年度選考委員会(第 2 回)

日 時	平成 25 年 6 月 10 日〔金〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 47F あさひ
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 齊藤 清 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、江向常務理事
議 題	平成 25 年度研究・事業助成金採点結果 平成 25 年度研究・事業助成金決定

#### ●3. 平成 25 年度(研究助成・事業助成)募集カテゴリー

(研究助成)

- ① 在宅における高齢者や障害者（児）の自立支援、在宅重視によるリハビリテーション活動に関する研究
- ② 在宅医療機器、介護福祉機器、リハビリテーション機器に関する研究
- ③ 訪問看護ステーション、地域包括ケアセンター及び在宅介護支援センターの機能拡大に関する研究
- ④ 介護保険制度及び医療保険制度における在宅ケアに関する研究
- ⑤ 介護予防やケアマネジメントに関する研究
- ⑥ 在宅で生活を支援するサービスの質の向上に関する研究

- ⑦ 難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑧ 医療機関から在宅医療・看護総合連携パスと福祉用具の活用に向けての研究
- ⑨ 介護職による医療行為の安全性確保に関する研究
- ⑩ 海外のホームケアに関する研究

(事業助成)

- ① 疾病を持った在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業
- ② 在宅ケアにおける福祉用具・住宅関連・寝具等の開発や工夫に努めている事業
- ③ 高齢者や障害者（児）の在宅ケア推進関連事業
- ④ 介護予防に関する新メニューの展開事業
- ⑤ 難病やがん末期の在宅医療・看護・介護支援強化に関する展開事業
- ⑥ 震災地における介護に関する事業

●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	平成25年4月25日～平成25年5月31日(応募期間)		
応募総数	70件	採用件数: 26件	助成金総額: 8,740,000円
助成金累計総額	390,780,000円		

※平成25年度研究・事業助成採用者一覧表は、別紙資料「1」をご参照。

ロ. 教育研修事業〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓蒙活動事業〕

1)福祉用具専門相談員指定講習会の実施

第一回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成25年5月20日〔月〕～25日〔土〕 6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」

参加者: 18名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理  
職業倫理他

## 第二回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成25年6月21日〔金〕、28日〔金〕、7月5日〔土〕、6日〔日〕、  
12日〔土〕、13日〔日〕 6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」  
メディアボックス会議室 「新宿区西新宿1-9-18」

参加者:33名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理  
職業倫理他

## 第三回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催

日時:平成25年11月19日〔火〕～21日〔木〕、26日〔火〕～28日〔木〕、  
6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」

参加者:29名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理  
職業倫理他

## 2)福祉用具プランナー研修会の実施

### 第一回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5時間

日時:平成25年7月5日〔金〕～平成25年9月4日〔水〕eラーニング期間  
平成25年8月1日〔木〕～3日〔土〕 3日間 前期集合研修  
平成25年9月5日〔木〕～7日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:東京テクニカルカレッジ 「中野区東中野4-2-3」

参加者:37名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具、最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 第二回:福祉用具プランナー研修会の開催 52.5時間

※ eラーニングについては、科目ごとの講義を受講している。48時間

日時:平成25年8月24日〔土〕～30日〔金〕 集合研修

場所:西武学園医学技術専門学校「東京新宿校」・新宿区百人町2-5-9

参加者:23名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 第三回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成25年11月16日〔土〕～平成26年1月15日〔水〕eラーニング期間

平成25年12月5日〔木〕～7日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成26年1月16日〔木〕～18日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:株式会社ウイズ 会議室 「大阪市西区立売堀 1-9-33」

参加者:34名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具,高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報,職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 3)研修会〔講演会〕の実施

- セミナー啓蒙活動では、ホームケアを目指したテーマを取り上げ高齢者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立って情報提供を行い、又、それを支える専門職の方への現任教育として講演会等を実施しております。

※全国で開催した講演会等の一覧表は、別紙資料「2」をご参照。

- 秋季研修会は年1回のイベントとして実施している。医療・看護・介護並びに一般の方をお呼びして講演会並びにシンポジウムを実施。

:平成25年度秋季研修会

:『身近な地域コミュニティの実現』～医療・看護・介護の連携～

:プログラム:「基調講演」地域包括ケアの今後の取組み

「講演会」在宅ケアのつながる力

シンポジウム「地域包括ケアの展望」パネラ 4名

落語会(笑える人権講演)

:日時:平成25年11月16日(土) 10:00～16:30

:会場:大阪市立 北区民センターホール

:主催:公益財団法人フランスベット・メデイカルホームケア研究・助成財団

:協賛:フランスベット株式会社

:後援:一般社団法人公衆衛生協会、公益社団法人日本看護協会

公益財団法人日本訪問看護財団、日本看護連盟

:参加者:332名

:参加費:無料

## ハ. 支援助成事業〔公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業〕

### ①健康生きがい学会への助成支援事業

健康と安心、そして生きがいに充ちた高齢期を迎えることは万人の願いであり、全ての高齢者に健やかな老いを保障することは老人福祉の究極的な目的といえます。そこで、高齢者が健康で安心に加えて、生きがいのある人生を送るために、国、地域、社会、そして私達1人ひとりがどのように対応していくべき意を尽くしていくために「健康生きがい学会」が創設されています。このことは、高齢社会の発展と向上に寄与していくことに対し、支援助成を行ってまいります。

- ・ 健康生きがい学会第4回大会
- ・ 『高齢者の健康生きがい』ーライフステージの視点からー
- ・ 日時:平成25年10月19日(土)
- ・ 場所:山野美容専門学校
- ・ 主催:健康生きがい学会
- ・ 共催:山野美容専門学校
- ・ 〃 :公益財団法人フランスハットメディカルホームケア研究助成財団
- ・ 参加者:450名
- ・ 参加費:無料

### ②難病こども支援全国ネットワークが主催する活動に対し後援し助成を行っている。

各種活動内容としては

- ・ 病気や障害のある子の家族を対象とした相談事業
- ・ 家族同士の交流の場を提供するサマーキャンプ事業
- ・ 親の会活動を支援する事業
- ・ 講演会、研修会など病気や障害のある子を理解するための事業
- ・ 社会教育・広報活動・ボランティア希望の方へ並びに活動支援事業

## 〔2〕収益目的事業

〔収1:在宅ケアに関連した、医療、介護、看護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業〕

- 1) 季刊誌「ふれあいの輪」を収益事業として、会計区分しております。

高齢者が安心して在宅生活を送り、住み慣れた我が家で再起を迎えることは、誰もが望むところである。そのためには社会資源を活用したネットワークの構築と情報の共有化が不可欠である。季刊誌「ふれあいの輪」の配布ターゲットは、医療、看護、介護を含む幅広い分野の皆様に配布を行っております。

- 1. 医療、看護、介護の専門分野の方に執筆をお願いして発行し、社会の動向を踏まえた最新情報を掲載し一般国民の皆様にも提供しております。
- 2. 1年4回の発行(春、夏、秋、冬)1回の発行部数12,650部  
 ※今、決算では、夏号、秋号、冬号、春号の発行になります。

No.169(夏号) 2013.6.10	トップインタビュー 今こそ、医療界も法曹界も『延命治療』に適切な決断をすべき時！ 特集:介護予防・日常生活支援総合事業 介護予防と日常生活への支援を切れ目なく提供するために
No.170(秋号) 2013.9.10	トップインタビュー 脳にやさしい情報とは何か？ 未来の脳科学は「やさしさ」がキーワード 特集: 介護と看護の連携で在宅ケアを推進する「複合型サービス」
No.171(冬号) 2013.12.10	トップインタビュー 老化にブレーキをかけ、「延命寿命を延ばすために・・・」 特集: 全国に先駆け自治体発の介護ロボット普及推進活動を担う
No.172(春号) 2014.3.10	トップインタビュー (特別企画座談会) 施設で暮らすことと地域で暮らすことは同じでなくてはならない。 特集: 認知症の初期から、本人と家族を支える 「初期集中支援チーム」

- 3. 配布先については、購入事業者(全国60箇所の営業所へ配布)を行い、各医療、看護、介護関連施設並びに一般の方々へ配布を行っております。

## 2. 管理部門

平成25年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

### [イ]許認可事項

なし

### [ロ]会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

#### (1)理事会

##### 第5回定時理事会(平成25年6月4日)

- 第1号議案 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)  
事業報告及び決算承認の件
- 第2号議案 評議員の定時評議員会の招集について
- 報告事項1. ①平成25年度事業計画の一部変更について  
②東日本大震災義援金募金活動報告について他

##### 第6回定時理事会(平成25年10月21日)

- 報告事項1. 平成25年度上期度事業報告並びに財務諸表報告について  
1.平成25年度〔平成25年4月1日～平成25年9月30日〕  
事業報告及び財務諸表報告の件
- 報告事項Ⅱ. 平成25年度下期事業予定  
1.平成25年度〔平成25年10月1日～平成26年3月31日〕  
行事予定

報告事業Ⅲ. 平成25年度秋季研修会について

##### 第7回定時理事会(平成26年2月6日)

- 第1号議案 平成25年度事業計画
- 第2号議案 平成25年度収支予算書
- 第3号議案 評議員の定時評議員会の招集について
- 第4号議案 租税特別措置法第40条申請に係る株式の受入について
- 第5号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 報告事項:評議員会の招集議題について

## (2) 評議員会

### 第4回定時評議員会(平成25年6月14日)

報告事項 1. 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

事業報告の内容報告の件

報告事項Ⅱ. 平成25年度における役員(理事・評議員)の退任について

第1号議案 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

計算書類等承認の件

第2号議案 評議員の選任の件

第3号議案 理事の選任の件

報告事項: 平成25年度事業計画の一部変更について

その他

### 第5回定時評議員会(平成26年2月21日)

承認事項①平成26年度事業計画

②平成26年度収支予算書

③資金調達及び設備投資の見込み

④株式の受入について

第1号議案 「定款の変更について」

第2号議案 「評議員の選任について」

第3号議案 「理事及び監事の選任について」

第4号議案 「役員退職慰労金支給について」

## (3) 企画委員会

第1回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(平成25年4月15日)

第2回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(平成25年10月3日)

第3回 季刊誌「ふれあいの輪」春号企画委員会(平成25年12月16日)

第4回 季刊誌「ふれあいの輪」平成25年度計画委員会(平成26年2月28日)

第5回 季刊誌「ふれあいの輪」平成25年度計画報告会(平成26年3月17日)

## (4) その他会議

(B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する研究班会議)

第1回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成25年4月25日)

第2回 B型肝炎感染拡大の検証及び再発防止研究班会議(平成25年5月9日)

(租税特別措置法第40条申請に関するプロジェクト会議)

- 第1回 租税法40条に向けた第1回プロジェクト会議(平成25年11月18日)
- 第2回 租税法40条に向けた第2回プロジェクト会議(平成25年11月29日)
- 第3回 租税法40条に向けた第3回プロジェクト会議(平成26年 1月14日)
- 第4回 租税法40条に向けた第4回プロジェクト会議(平成26年 2月24日)
- 第5回 租税法40条に向けた第5回プロジェクト会議(平成26年 4月 2日)

(5) 東日本大震災支援活動に対する募金活動

平成25年度に実施しました、「東日本大震災」義捐金募金活動について、募金額及び寄附先(候補地域)について報告いたします。

1. 「東日本大震災」義援金募金額

※(管理口座名義: 公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団  
東日本大震災義援金口座にて別会計口座の管理)

(単位:円)

前期繰越額	29,524
イ. 全国で開催したケアマネ研修会 22 箇所での募金額	445,193
ロ. 秋季研修会での募金額	2,669
ハ. 東日本大震災義援金募金通帳預金利息	72
義援金募金総額	477,458

2. 「東日本大震災」義援金募金寄附先の候補地域

寄附先	活動概要	寄附金予定額
福島県介護支援 専門員協会	介護支援専門員による仮設住宅への ボランティア活動支援	150,000円
岩手県介護支援 専門員協会	介護支援専門員による仮設住宅への ボランティア活動支援	150,000円
宮城県介護支援 専門員協会	介護支援専門員による仮設住宅への ボランティア活動支援	150,000円
	寄附金予定総額	450,000円

以上